

演劇の稽古に取り組み静岡文化芸術大の学生と中学生
 生＝浜松市浜北区の北浜南部協働センター(写真の
 一部を加工しています)



演劇で対話力形成

浜松市中区の静岡文化芸術大の学生グループ「ぶちまり」が、浜北区内の中学生に演劇を指導する「お芝居プロジェクト」に同区寺島の北浜南部協働センターで取り組んでいる。劇は同所で開く協働センターまつりに合わせて20日午前11時40分ごろから披露する。学生と生徒約30人は発表を前に13日、同所でせりふを掛け合い、動作などを確認した。当日は昨年以前に同プロジェクトに参加した高校生らも交え「亦ずきん」や「シンデレラ」など5作品を上演

静岡文化芸術大生グループ

浜北区 20日、中学生らと披露

する。学生と生徒は9月下旬から稽古を重ねていて、ぶちまりの中心メンバーで同大文化政策学部4年岡田真由子さん(22)は「中学生ともだいが打ち解けてきた」と話す。市立北浜中3年本田悠馬さん(15)も「楽しんでもらえる演技をしたい」と意気込んだ。演劇指導は毎年この時期、生徒に劇の稽古や発表を通じて身体表現や対話力を磨いてもらおうと行っている。問い合わせは北浜南部協働センターへ電053(585)0510へ。(浜北支局・松浦直希)